

CEFR level	A1
受講者レベル	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや誰と知り合いであるか、持ち物などの個人情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくりはっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。
目標	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
教科書	<i>Talk a Lot</i> by David Martin. Published by EFL Press.

	前半 (月曜日、火曜日、水曜日)		後半 (木曜日、金曜日)	
週	ユニット	目標 (これができるようになる)	ユニット	目標 (これができるようになる)
1	導入	(オリエンテーション) • 自己紹介 • クラスルームイングリッシュに慣れ、それを使う。	導入	(オリエンテーション) • 自己紹介 • 知り合いになるために質問したり、質問に答えたりする。
2	Unit 1: Getting to Know Each Other	• 初対面の人同士の会話を聞いて、重要な情報を聞き取る。 • 誕生日について話すために序数を使う。 • リダクション (消えたりつながったりしている音) を意識して自然な発音をする。 • 知り合いになるために個人的な質問をしたり、質問に答えたりする。	Unit 2: Talking about Interests	• 好き嫌いについて話す。
3	Unit 3: Talking about Family	• 自分の家族について話す。 • 家族に関する会話を聞いて、重要な情報を聞き取る。	Unit 2: Talking about Interests	• 好き嫌いについて話す。 • 好き嫌いに関する会話を聞いて、重要な情報を聞き取る。 • できることについて話す。
4	Unit 3: Talking about Family	• 自分の親戚について話す。 • 家族や親戚に関する語を説明する。	Unit 4: Talking about People	• 人の外見を説明する。 • つながった音を発音する。
5	Unit 5: Talking about Work	• 職業に関する語を適切な強勢を置いて発音する。 • 様々な職業を説明する。 • 時刻を2通りの言い方と言う。	Unit 4: Talking about People	• 人の外見を説明する。 • 人の外見に関する会話を聞いて、重要な情報を聞き取る。 • 人がしていることを説明する。
6	Unit 5: Talking about Work	• 仕事の内容や習慣に関する会話を聞いて、重要な情報を聞き取る。 • 仕事の内容や習慣について話す。 • 頻度や時刻に関して質問をしたり、質問に答えたりする。	Unit 6: Talking about Past Experiences	• 過去の経験について話す。 • 過去の習慣について話す。
7	Unit 7: Talking about Sports	• スポーツについて話す。 • スポーツに関する会話を聞いて、重要な情報を聞き取る。 • 語尾が-ing の形容詞と-ed の形容詞を区別する。	Unit 6: Talking about Past Experiences	• リダクションを意識して自然な発音をする。 • 自分の過去の休暇を説明する。 • 過去の経験について話す。
8	Unit 9: Talking about Experiences	• 過去の経験について話す。	Unit 6: Talking about Past Experiences	• 過去の経験について話す。
9	Unit 9: Talking about Experiences	• 過去の経験について話す。	Unit 8: Talking about Other Countries	• 外国について話す。
10	復習	• 自分について1分間話す。	Unit 8: Talking about Other Countries	• 外国について話す。 • ある国について口頭で報告する。(各自、1つの国を選び、授業前に調べておく。)

CEFR level	A1
受講者レベル	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや誰と知り合いであるか、持ち物などの個人情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくりはっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。
目標	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
教科書	<i>Talk a Lot</i> by David Martin. Published by EFL Press.

	前半 (月曜日、火曜日、水曜日)		後半 (木曜日、金曜日)	
週	ユニット	目標 (これができるようになる)	ユニット	目標 (これができるようになる)
11	導入	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 夏休みについて話す 	導入	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 前期の復習
12	Unit 10: Talking about Places	<ul style="list-style-type: none"> 部屋のどこに物があるか説明する。 	Unit 11: Travel English Part I	<ul style="list-style-type: none"> レストランを予約する。 適切な音節に強勢を置いて発音する。/z/を発音する。 レストランで注文する。
13	Unit 10: Talking about Places	<ul style="list-style-type: none"> 部屋のどこに物があるか説明する。 	Unit 11: Travel English Part I	<ul style="list-style-type: none"> 飛行機を予約する。 旅行の経験に関する会話を聞いて、重要な情報を聞き取る。
14	Unit 10: Talking about Places	<ul style="list-style-type: none"> 道を尋ねたり、道案内をしたりする。 	Unit 13: Talking about Future Events	<ul style="list-style-type: none"> 人を何かに誘う。 going to の部分を gonna という。 計画について話す。 計画に関する会話を聞いて、重要な情報を聞き取る。
15	Unit 10: Talking about Places	<ul style="list-style-type: none"> 道を尋ねたり、道案内をしたりする。 場所に関する会話を聞いて、重要な情報を聞き取る。 	Unit 13: Talking about Future Events	<ul style="list-style-type: none"> 計画について話す。 休暇の計画について話す。 will の短縮形や won't を発音する。 将来について考え、それを伝える。 意図を伝える。約束する。提案する。
16	Unit 12: Talking about Japanese Things	<ul style="list-style-type: none"> 日本の物や場所を説明する。 	Unit 15: Travel English Part II	<ul style="list-style-type: none"> 旅行に関してアドバイスする。 ルームサービスを頼む。 モーニングコールを頼む。
17	Unit 12: Talking about Japanese Things	<ul style="list-style-type: none"> 日本円で値段について話す。 	Unit 15: Travel English Part II	<ul style="list-style-type: none"> 通貨を両替する。 商品の値引きを交渉する。 旅行の行先について話す。 旅行に関する会話を聞いて、重要な情報を聞き取る。
18	Unit 14: Talking about School	<ul style="list-style-type: none"> 高校について話す。 高校に関する会話を聞いて、重要な情報を聞き取る。 	Unit 16: Talking about Sickness-Health	<ul style="list-style-type: none"> “th” の音を発音する。 健康問題について話す。 健康に関してアドバイスする。
19	Unit 14: Talking about School	<ul style="list-style-type: none"> 高校の規則について話す。 自分の高校生活について話す。 自分の大学生活について話す。 	Unit 16: Talking about Sickness-Health	<ul style="list-style-type: none"> 健康問題について話す。 健康に関してアドバイスする。 自分の健康について話す。 健康に関する会話を聞いて、重要な情報を聞き取る。 健康に関する語を思い出す。
20	復習	<ul style="list-style-type: none"> これまでに話し合ったトピックについて話す。 	復習	<ul style="list-style-type: none"> これまでに話し合ったトピックについて話す。

CEFR level	A2
受講者レベル	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
目標	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
教科書	<i>Communication Spotlight: Pre-Intermediate</i> by Alastair Graham-Marr. Published by Abax.

	前半 (月曜日、火曜日、水曜日)		後半 (木曜日、金曜日)	
週	ユニット	目標 (これができるようになる)	ユニット	目標 (これができるようになる)
1	導入	(オリエンテーション) • 自己紹介	導入	(オリエンテーション) • 自己紹介
2	Unit 0: Getting acquainted	• 初対面の人同士の会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 • 知り合いになるために質問したり、質問に答えたりする。	Unit 1: Describing school schedules	• 学校の時間割りに関する会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 • 人々のスケジュールに関する短い会話についてメモを取る。
3	Unit 0: Getting acquainted	• 弱い母音を聞き取る。それを発音する。 • クラスルームイングリッシュを使う。 • クラスルームイングリッシュを使いながら、短い会話についてメモを取る。 • 相手のことをよりよく知るために質問したり、質問に答えたりする。	Unit 1: Describing school schedules	• つながった音を聞き取る。それを発音する。 • 理解できないときに質問する。 • スケジュールについて情報交換する。 • お互いのスケジュールについて質問したり、質問に答えたりする。
4	Unit 2: Describing your daily routines, expressions of time	• 習慣に関する会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 • 習慣について情報交換する。	Unit 3: Describing objects	• ある物体の説明を聞いて、概要と詳細を理解する。 • ある物体の説明を聞いて、それが何か推測する。
5	Unit 2: Describing your daily routines, expressions of time	• 文の中で強勢のない語を推測する。 • 言い換えによって自分の理解を確認する。 • ある人の典型的な一日について情報交換したり言い換えたりする。 • 自分の典型的な一日について情報交換したり言い換えたりする。	Unit 3: Describing objects	• 消える音を理解したり、つながった音を聞き取ったりする。それを発音する。 • 知らない語を性質などの説明で相手に理解させる。 • ある物体の説明を聞いて、それが何か推測する。 • 物体の説明をしたり、説明から物体を推測したりする。
6	Unit 4: Talking about people, describing people	• 人々を説明する会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 • ある人を説明している短い会話を聞いて、言い換える。	Unit 5: Describing location, objects in a room	• どこに物を置くか説明している会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 • 部屋のどこに物があるか説明する。
7	Unit 4: Talking about people, describing people	• 混ざりあった音を聞き取る。それを発音する。 • 質問をして、会話を広げる。 • その人に合った仕事を勧めるために質問を考え、インタビューする。 • 家族や友人について質問したり、説明したりする。	Unit 5: Describing location, objects in a room	• 弱い母音を聞き取る。それを発音する。 • 知らない語を性質などの説明で相手に理解させる。 • 部屋のどこに物があるか説明する。 • 部屋の様子を説明する。
8	Unit 6: Fluency with money and prices	• 値段に関する会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 • 値段について情報交換する。	Unit 7: Talking about the future, vacation plans	• 休暇の計画に関する会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 • 休暇の計画に関する短い会話を聞いて、言い換える。
9	Unit 6: Fluency with money and prices	• 文の中で強勢が置かれる語を理解し、そのリズムで発音する。似た音の数字に関する強勢を理解し、それを発音する。 • 相手の言葉を繰り返して、自分の理解を確認する。 • 値段に関する短い会話についてメモを取る。 • 様々な製品について妥当な値段を話し合う。	Unit 7: Talking about the future, vacation plans	• 口語的な英語 (wanna, gonna, gotta) を聞き取る。それを発音する。 • 言い換えによって自分の理解を確認する。 • 休暇の計画を説明したり言い換えたりする。 • 自分の休暇の計画を説明したり言い換えたりする。
10	復習	• できることを自己評価する。 • 自然に発音される文を聞いて、その語数をつかむ。 • これまでに学んだ語の意味を説明する。	復習	• これまでに話し合ったトピックについて話す。 • 週末の予定について話し合う。 • 新たに学んだ語や表現の中で役に立つものを振り返る。

CEFR level	A2
受講者レベル	ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
目標	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
教科書	<i>Communication Spotlight: Pre-Intermediate</i> by Alastair Graham-Marr. Published by Abax.

	前半 (月曜日、火曜日、水曜日)		後半 (木曜日、金曜日)	
週	ユニット	目標 (これができるようになる)	ユニット	目標 (これができるようになる)
11	導入	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 夏休みについて話す 	導入	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 前期の復習
12	Unit 8: Talking about things you did	<ul style="list-style-type: none"> 過去に行ったことに関する会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 過去に行ったことに関する短い会話を聞いて、言い換える。 	Unit 9: giving directions	<ul style="list-style-type: none"> 道案内をしている会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 道案内をしている短い会話を聞いて、言い換える。
13	Unit 8: Talking about things you did	<ul style="list-style-type: none"> 消える音を理解する。それを発音する。 質問をして、会話を広げる。 人が過去に行ったことについて情報交換したり、言い換えたりする。 週末に何をしたか話し合う。 	Unit 9: giving directions	<ul style="list-style-type: none"> 文の流れから聞こえない語を推測する。 知らない語を性質などの説明で相手に理解させる。 地図を使って道案内する。 身の回りの場所について道案内する。
14	Unit 10: Describing cities, introducing your hometown	<ul style="list-style-type: none"> ある人の地元の町に関する会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 ある町に関する短い会話についてメモを取る。 	Unit 11: Story telling	<ul style="list-style-type: none"> 旅行に関する会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 旅行について話す。
15	Unit 10: Describing cities, introducing your hometown	<ul style="list-style-type: none"> 文の中で強勢のない語を聞き取る。それを発音する。 興味があることを示す表現を使う。 自分の地元の町を説明する。 有名な町を説明する。 	Unit 11: Story telling	<ul style="list-style-type: none"> 消える音を理解したり、弱い母音を聞き取ったりする。それを発音する。 言い換えによって自分の理解を確認する。 旅行について説明したり、言い換えたりする。 自分が経験した旅行について話す。
16	Unit 12: fluency with large numbers	<ul style="list-style-type: none"> 2つの国の数的情報に関する会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 ある国の数的情報について、欠けている情報を補い合う。 	Unit 13: Describing occupations	<ul style="list-style-type: none"> 職業に関する会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 職業に関する短い会話についてメモを取る。
17	Unit 12: fluency with large numbers	<ul style="list-style-type: none"> イントネーションの上昇調と下降調を理解する。それを発音する。 相手の言葉を繰り返して、自分の理解を確認する。 ある国の数的情報について、欠けている情報を補い合う。 ある国の数的情報について情報交換したり、言い換えたりする。 	Unit 13: Describing occupations	<ul style="list-style-type: none"> 消える音や音節、語を理解する。それを発音する。 単語を思い出せないときに助けを求める。 メモをとったり、知らない語を性質などの説明で相手に理解させたりしながら、職業について情報交換する。 ある職業を説明する。
18	Unit 14: Talking about past experiences, talking about school	<ul style="list-style-type: none"> 学校に関する会話を聞いて、概要と詳細を理解する。 学校に関して質問したり答えたりする。 	Unit 15: Asking for information	<ul style="list-style-type: none"> 会話の流れから相手が言うことを予測する。 大学のコースに関する会話を聞いて、概要と詳細を理解する。
19	Unit 14: Talking about past experiences, talking about school	<ul style="list-style-type: none"> 文の流れから聞こえない語を推測する。 言い換えたり、意味を尋ねたりして、自分の理解を確認する。 学校について情報交換したり、言い換えたりする。 自分の学校での経験について情報交換したり、言い換えたりする。 	Unit 15: Asking for information	<ul style="list-style-type: none"> 大学のコースについて、欠けている情報を補い合う。 質問をすることによって、自分の理解を確認する。 学校のプログラムについて質問したり答えたりする。 学校のプログラムを選ぶために質問する。学校のプログラムを企画したり宣伝したりする。
20	復習	<ul style="list-style-type: none"> できることを自己評価する。 自然に発音される文を聞いて、その語数をつかむ。 これまでに学んだ語の意味を説明する。 	復習	<ul style="list-style-type: none"> これまでに話し合ったトピックについて話す。 先週末にしたことを話し合う。 新たに学んだ語や表現の中で役に立つものを振り返る。

CEFR level	B1
受講者レベル	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
教科書	<i>Contemporary Topics 1</i> by Helen Solorzano and Laurie Frazier. Published by Pearson.

	前半 (月曜日、火曜日、水曜日)		後半 (木曜日、金曜日)	
週	ユニット	目標 (これができるようになる)	ユニット	目標 (これができるようになる)
1	導入	(オリエンテーション) • 自己紹介	導入	(オリエンテーション) • 自己紹介
2	Unit 1 Psychology: Happiness	• 短い話のトピックと主題についてメモを取る。	Unit 2 Linguistics: A Time to Learn	• 短い話の中で修辞疑問文を聞き取る。
3	Unit 1 Psychology: Happiness	• 心理学の講義から主題についてメモを取る。 • 心理学の講義について事実確認する。 • 音節の強勢を理解し、発音する。 • 同意の仕方を理解し、それを使う。	Unit 2 Linguistics: A Time to Learn	• 言語学の講義の主題を聞き取る。 • 言語学の講義から詳細についてメモを取る。 • イントネーションの上昇調と下降調を理解し、発音する。 • 意見や考えを求める方法を理解し、それを使う。
4	Unit 1 Psychology: Happiness	• 学んだ内容について話し合い、確認する。 • 幸せについて発表する。	Unit 2 Linguistics: A Time to Learn	• 学んだ内容について話し合い、確認する。 • 言語学習について発表する。
5	Unit 3 Public Health: Sleep	• 短い話の中のシグナル・フレーズ (次の話題へのつなぎ言葉) を理解する。	Unit 4 Business: Negotiating for Success	• 短い話からいくつかの情報を列挙する。
6	Unit 3 Public Health: Sleep	• 公衆衛生の講義から重要な情報を聞き取る。 • 公衆衛生の講義から詳細を聞き取る。 • シグナル・フレーズを理解し、それを使う。 • パラフレーズ (言い換え) を理解し、それを使う。	Unit 4 Business: Negotiating for Success	• ビジネスの講義について事実確認する。 • ビジネスの講義から詳細についてメモを取る。 • 文中で列挙した事項や対比した事項を述べるリズムを理解し、発音する。 • 意見の述べ方を理解し、それを使う。
7	Unit 3 Public Health: Sleep	• 学んだ内容について話し合い、確認する。 • 健康問題の解決法について発表する。	Unit 4 Business: Negotiating for Success	• 互いに話し合っ、講義のメモをまとめたり、情報を加えたりする。 • 交渉について発表する。
8	Unit 5 Art History: Modern Art	• 短い話の中で定義づけを示す表現を理解する。	Unit 6 Engineering: Robots	• 例や言い換えられた情報のメモを取る。
9	Unit 5 Art History: Modern Art	• 美術史の講義から主題を聞き取る。 • 美術史の講義について事実確認する。 • 意味のかたまりごとにポーズを置くことを理解し、それを使う。 • 不賛成の表し方を理解し、それを使う。	Unit 6 Engineering: Robots	• 工学の講義から重要な情報についてメモを取る。 • 工学の講義から詳細についてメモを取る。 • 短縮形を理解し、発音する。 • 意見をまとめる方法を理解し、それを使う。
10	Unit 5 Art History: Modern Art	• 講義のメモを要約する。 • 美術について発表する。	Unit 6 Engineering: Robots	• パートナーと講義について話し合う。 • 相手にロボットを売り込む。

CEFR level	B1
受講者レベル	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
目標	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
教科書	<i>Contemporary Topics 1</i> by Helen Solorzano and Laurie Frazier. Published by Pearson.

	前半 (月曜日、火曜日、水曜日)		後半 (木曜日、金曜日)	
週	ユニット	目標 (これができるようになる)	ユニット	目標 (これができるようになる)
11	導入	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 夏休みについて話す 	導入	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 前期の復習
12	Unit 7 Media Studies: Interactive Games	<ul style="list-style-type: none"> 短い話の中での根拠を聞き取る。 	Unit 8 Biology: Genetically Modified Food	<ul style="list-style-type: none"> 短い話のキーワードを聞き取る。
13	Unit 7 Media Studies: Interactive Games	<ul style="list-style-type: none"> メディアの講義から主題についてメモを取る。 メディアの講義について事実確認する。 重要な語に強勢を置くことを理解し、それを使う。 不確かなことを明らかにする方法や確認する方法を理解し、それを使う。 	Unit 8 Biology: Genetically Modified Food	<ul style="list-style-type: none"> 生物学の講義から主題を聞き取る。 生物学の講義について事実確認する。 強勢のないつながった音を理解し、発音する。 話題を変える方法を理解し、それを使う。
14	Unit 7 Media Studies: Interactive Games	<ul style="list-style-type: none"> 講義のメモを要約する。 調査を行い、メディアについてグループで発表する。 	Unit 8 Biology: Genetically Modified Food	<ul style="list-style-type: none"> 学んだ内容について話し合い、確認する。 2つの種類の食べ物を比較対照し、それについて発表する。
15	Unit 9 Business: Design Thinking	<ul style="list-style-type: none"> あるプロセスについてメモを取る。 	Unit 10 History: Shackleton	<ul style="list-style-type: none"> 短い話の中の数字や日付のメモを取る。
16	Unit 9 Business: Design Thinking	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスの講義から重要な情報を聞き取る。 ビジネスの講義から詳細を聞き取る。 話が終わっていない場合のイントネーションの上昇調と話が終わった場合のイントネーションの下降調を理解し、発音する。 失礼でない話の遮り方を理解し、それを使う。 	Unit 10 History: Shackleton	<ul style="list-style-type: none"> 歴史の講義から重要な情報についてメモを取る。 歴史の講義について事実確認する。 語尾の-edの音を理解し、発音する。 議論が論点から逸れないようにする方法を理解し、それを使う。
17	Unit 9 Business: Design Thinking	<ul style="list-style-type: none"> 互いに話し合っ、講義のメモをまとめたり、情報を加えたりする。 デザイン思考について発表する。 	Unit 10 History: Shackleton	<ul style="list-style-type: none"> 講義のメモを要約する。 人生における重要な出来事について話す。
18	Unit 11 Philosophy: Ethics	<ul style="list-style-type: none"> 短い話の中での事例についてメモを取る。 	Unit 12 Information Technology: Big Data	<ul style="list-style-type: none"> 個人的な話の概略についてメモを取る。
19	Unit 11 Philosophy: Ethics	<ul style="list-style-type: none"> 哲学の講義から主題についてメモを取る。 哲学の講義から詳細についてメモを取る。 意味の区切りを付けるポーズを理解し、それを使う。 事実や例の挙げ方を理解し、それを使う。 	Unit 12 Information Technology: Big Data	<ul style="list-style-type: none"> 情報技術の講義から主題についてメモを取る。 情報技術の講義について事実確認する。 単語や語句のパターンを繰り返すリズムを理解し、発音する。 議論が続くようにする方法を理解し、それを使う。
20	Unit 11 Philosophy: Ethics	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学んだ内容について話し合い、確認する。 倫理的問題について発表する。 	Unit 12 Information Technology: Big Data	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学んだ内容について話し合い、確認する。 ある種のテクノロジーの長所と短所について発表する。